

# 豊田市PCB処理 安全監視委員会だより

平成19年1月  
第10号

豊田市では、日本環境安全事業（株）が行う豊田 PCB 廃棄物処理事業における安全性、環境保全の確保のために、「豊田市 PCB 処理安全監視委員会」を設置し、安全・確実に運搬・処理されることを監視しています。

委員会の活動内容は、この「委員会だより」や市のホームページなどで公開しています。

## 平成18年度第2回豊田市 PCB 処理安全監視委員会について

平成18年11月17日（金）午前10時から日本環境安全事業（株）豊田事業所において、平成18年度第2回豊田市 PCB 処理安全監視委員会を開催しました。

委員会には安全監視委員8名のほか、オブザーバーとして愛知県環境部資源循環推進課と豊田市消防本部、処理事業者の日本環境安全事業（株）が出席しました。また、2名の方が委員会を傍聴されました。

下記の議事の他に、処理施設の中央監視室で施設の運転状況の確認を行いました。

なお、豊田 PCB 廃棄物処理施設は、市の承認を受けて7月19日から運転を再開しています。

（参考：委員会だより第9号）



### 【議事内容（要旨）】

#### 1 豊田 PCB 廃棄物処理施設の運転再開後の市の対応について

PCB 処理事業に関する立入調査、報告徴収等の実施状況について市から報告がありました。

##### （1）豊田 PCB 廃棄物処理施設に係る立入調査

- ・ 運転再開時に付した条件が継続して履行されることを確認しました。
- ・ 環境保全性能の健全性を確保するための活性炭の交換作業を確認しました。
- ・ 定期点検前の停止作業に問題がないことを確認しました。
- ・ 消火栓を使用した火災を想定した防災訓練の実施を確認しました。

## (2) 収集運搬事業に係る立入調査

- ・ PCB 保管物の収集運搬前の訓練の状況を確認しました。
- ・ 2社が初めて PCB 廃棄物を収集運搬するため、作業状況の確認をしました。その内の1社の作業従事者に講習会未受講者がいたために指導を実施しました。

## (3) 日本環境安全事業(株)からの報告徴収の実施

- ・ 運転中の排気の PCB オンラインモニタリング結果を徴収。通常の運転状態において問題はありませんでした。
- ・ 協定に基づく日本環境安全事業(株)によるモニタリングの結果に問題のないことを確認しました。

## (4) 環境調査(夏季)の実施

- ・ 8月上旬に実施した環境調査の結果は、過去の調査結果と比較して目立った変動はなく、環境省実施の平成16年度モニタリング調査の範囲内でした。

## 2 事故対策及び総点検による抽出項目の整理・活用について

今後の不具合の発生を未然に防止するために、事故後の安全総点検及び対策・試運転を通して実施した対策事項を整理し、それを活かした操業及び定期点検時における対応方法について説明がありました。

### (1) 漏洩事故対策の抽出項目の対応方法

- ・ 圧力計の脱落に係る対策として、振動の確認、圧力計の確認を日常点検で行っています。
- ・ 日常点検で負圧管理を行い、その結果を記録する対策を実施し、換気排気の状態を把握しています。

### (2) 配管のゆるみ点検結果の抽出項目の対応方法

- ・ 点検等でフランジを開放した場合は、パッキンを新品に取り替えます。
- ・ パッキン等の在庫は在庫管理システムを導入して適切に管理します。
- ・ 不具合の発生のおそれがある箇所については定期点検の項目に追加し、定期的に監視していきます。

### (3) 安全管理記録レビューの抽出項目の対応

- ・ PCB 以外の油類の配管等で防油堤内にはないものについては、日常点検でにじみ等を確認します。

## 3 豊田 PCB 廃棄物処理施設の操業状況について

7月19日から運転を再開し、どのように操業を行ってきたかを日本環境安全事業(株)から説明がありました。

### (1) 運転再開の基本方針

- ・ 再開当初は処理能力を3割程度に抑え、安全性や健全性を確認しながら徐々に能力をあげていく。平成19年度には処理計画の基づいた処理を目指します。
- ・ 処理施設の健全性、運転、操業の確実性の確保と維持向上を図るため、内部技術評価(評価責任者:本社事業部長)を実施します。なお、11月上旬から開始しています。

(2) 主な操業状況等について

- ・ 操業停止時に保管してある物の処理を実施しました。
- ・ 排出源（排気、排水等）や周辺環境（大気、土壌等）の調査を実施しました。
- ・ 収集運搬事業者の搬入訓練を実施しました。
- ・ PCB 廃棄物については 8 月 31 日から受入を開始しました。
- ・ 定期点検を実施しました（8/14 から 8/29）。
- ・ 内部技術評価を実施しました（11/8 から 11/10）。

(3) 操業条件の実施状況

- ・ 朝礼の追加や作業連絡の文書化に取組み、伝達漏れや誤解を生じないようにしています。
- ・ 各事業所間での取組み等を横展開することとして、別事業所で起きた不具合についても確認しています。

(4) 豊田 PCB 廃棄物処理施設の不具合事項について

- ・ 減用圧縮機の攪拌洗浄かごをずれた状態で動かしたところ、フレームに接触し、減用圧縮機のアームが破損。けが人、PCB の漏洩なし。対策は操作手順の再教育及びずれた状態では動かないようにシステムを改造しました。
- ・ 慣れない作業者が特殊トランスの外装部品撤去中に誤ったボルトを緩めたため、オイルパン上に PCB が漏出。けが人、外部への PCB の漏洩なし。漏出した PCB については適切に回収し、処理しました。対策として、慣れない作業者には熟練者が付き添うことや再教育、漏洩事故訓練を実施しました。
- ・ 真空加熱分離後のかご内の素子から冷却不足が原因で発煙。けが人、PCB の漏洩なし。自社にて粉末消火器等により迅速に消火。対策として、かごの冷却効率を高める改造や徹底した温度管理を行うこととしました。

**【委員からの主な質問と回答】**

*質問*

事故により 8 ヶ月間中断した処理はどのようになりますか。

<回答>

処理施設の年間の操業日を 250 日、定期点検を 60 日、残った 50 日を予備日と考えており、その予備日を操業することにより停止期間中の処理量を回復します。そのため、無理な運転をするわけではありません。

*質問*

収集運搬事業者が軽い気持ちで登録することはないのですか。

<回答>

許可の申請や協定の締結時に事業者の態勢を確認しています。また、許可の申請には運搬容器等の準備も必要であり、その費用は高額のため軽い気持ちで登録する事業者はないと考えています。

*意見・要望*

- ・ 保管量が少ない事業者は管理体制の確保が難しいので先に処理を優先すべきである。
- ・ 収集運搬事業についても緊張感を持った体制で作業が続けられるよう対応すること。

**【豊田市 PCB 処理安全監視委員会委員】**（ :委員長 :副委員長）

周辺自治区の代表

	森川 直喜	朝日丘コミュニティ
	江坂 俊彦	逢妻コミュニティ
	兵藤 勝利	竜神コミュニティ
	太田 忠良	竜神コミュニティ
	都築 益夫	若林コミュニティ
	寺田 敏	若園コミュニティ

公募市民

	浅野 智恵美	環境カウンセラー
	伊藤 圭一	会社員
	三浦 聖子	看護師

周辺企業代表

	金子 孝博	大豊工業株式会社
--	-------	----------

学識経験者

	岡本 勝司	豊田加茂医師会
	藤江 幸一	豊橋技術科学大学工学部教授
	松田 仁樹	名古屋大学大学院工学研究科教授

**【豊田 PCB 廃棄物処理事業に関するお問合せ】**

日本環境安全事業株式会社

豊田事業所

豊田市細谷町 3 丁目 1 番地 1

TEL : 0565 - 25 - 3110

FAX : 0565 - 24 - 0543

処理施設は見学ができます。  
上記の連絡先にご予約ください。

日本環境安全事業株式会社

東京都港区芝 1 - 7 - 17

住友不動産芝ビル 3 号館 4 階

TEL : 03 - 5251 - 1017

FAX : 03 - 3592 - 5606

<http://www.jesconet.co.jp>



**【連絡先】**

豊田市 PCB 処理安全監視委員会事務局

豊田市環境部環境保全課

TEL : 0565-34-6628

FAX : 0565-34-6684

E-mail : [k\\_hozen@city.toyota.aichi.jp](mailto:k_hozen@city.toyota.aichi.jp)

<http://www.city.toyota.aichi.jp/division/ae03.htm>

